

## 個別施設の方向性に関する意見概要

### 1 集会施設

#### 【旧市町村単位】

- 生涯学習機能は継続して残していくということなので、市の方針どおりでいいと思う。
- 皆瀬生涯学習センターは老朽化しており、周辺の公共施設も一緒に建て直せばいいと思う。整備する際は、社会情勢の変化を考慮して建物のレイアウトが機能的に変化できるようにすればいいのではないかな。

#### 【地区単位】

- 自治組織は結成から10年以上経過しており、地区センターで事務局機能を持っている場合が多い。ところが、湯沢中央部のみ事務局機能がなく、地区によって差があるのが実情。
- 地区センターについて、将来的には指定管理に移行する方向だが、地元団体が受け皿となれるように、行政が育てていく必要があると思う。
- 地域団体が自主的に活動するためには、人材育成が重要である。市は、継続的に人材育成（特に若手）に取り組んでほしい。

#### 【町内会・集落単位】

- 川連老人憩の家は、地域の集会所として指定管理料により運営している。地元としては、全て自前で運営していくのは厳しいと思う。廃止ではなくコンパクトに建て替えしてはどうかとの意見もあった。
- 資料を見ると、廃止して何も対応しないという項目はないようだ。譲渡するにしても、地域住民との話し合いが一番の土台になる。

### 2 文化施設

- 湯沢文化会館について、せっかくいい建物だと言われても稼働率が悪ければ宝の持ち腐れになってしまう。こういった施設をもっと有効活用して地域の活性化につながるような工夫が必要。
- 湯沢文化会館の稼働率が低いのは、使用料が高いからではないか。もっと安い使用料にして利用率を上げればいいのではないかな。
- 湯沢には映画館がないので、湯沢文化会館の中ホールで、子ども達向けの映画鑑賞会や大人も楽しめる映画の上映を増やせば稼働率が上がると思う。
- 稼働率が低迷するのは人口減少の影響（各種会員の減少等）があるのではないかな。
- 北上市の文化交流センター（さくらホール）や紫波町のオガールなど、他自治体の例を参考にして施設の魅力を高めてもらいたい。
- 民間の（専門家の）力を借りることはいいことだと思う。民間と行政の力をあわせて、質の高い文化会館になるように努力することが重要。

### 3 図書館

- 湯沢図書館は、駐車場が狭いので本を返すだけでも大変である。
- 全体的に、指定管理や民間活力のような言葉が多く、市の直営からどんどん手放していくイメージがある。図書館は貴重な資料などを扱っており、市の直営の方がいいのではないかな。
- 建物が良くても有効に活用されなければ意味がないので、民間のノウハウが必要になると思う。指定管理者制度を導入する場合、市の関わり方はどうあるべきか考えさせられた。

### 4 博物館

- 院内銀山異人館は、地元では一度行くと再度行くことはあまりないが、市外からの利用者の評判は良かったので、市唯一の博物館として存続してほしい。
- 存続の方針はいいが、もっと有効利用されるように魅力的な企画が必要。

### 5 スポーツ施設

- スポ少の大会などで体育館を利用する際、使用料を比較すると、他自治体の施設を利用せざるを得ない場合がある。そのようなことにならないように、近隣自治体の状況を調査して使用料を検討すべきと思う。

### 6 レクリエーション施設・観光施設

- 皆瀬観光物産館と小安峡温泉総合案内所は距離的に近く機能も類似している。地元の小安峡温泉でもここをどのように活用すればいいか検討しており、例えば、地域の人の特産品を販売して主体的に収入を得る仕組みを作るなど、誘客を高めるための工夫が必要である。
- ダリア園は、周辺に民間施設があるため廃止という方向だが、これは市民の理解が得られるのではないかな。

### 7 保養施設

- 皆瀬農業者等休養施設は、温泉に入って部屋で休憩している方々が多くいる。旅館や民宿は、日帰り入浴はできるものの休憩スペースが十分にあるわけではないので、利用者の声を聴きながら方向性を検討してほしい。
- 利用者の立場としては、あれば有り難い施設ではあるが、今後、施設の老朽化に伴う負担増を考えれば難しい課題だと思う。何かいい方法があればいいのだが。
- 産業系施設・保養施設に共通して、公共施設が民業を圧迫しているという側面がある。また、民間が行政から施設の譲渡を受けて、更に補助金による支援があると、どちらも民間企業なのに不公平感が生まれる。

## 8 産業系施設

- 地熱が農業分野に活用されている例として皆瀬地熱農産加工所や地熱利用ハウスがある。このような施設をジオパーク施策と絡めて一体的な方向付けをすることで、民間の地熱開発に伴う地域貢献事業で取り組みを後押ししてもらえるのではないかな。
- 産業系施設・保養施設に共通して、公共施設が民業を圧迫しているという側面がある。また、民間が行政から施設の譲渡を受けて、更に補助金による支援があると、どちらも民間企業なのに不公平感が生まれる。

## 9 学校、その他教育施設

- 学校の空き教室を利用する際、セキュリティの課題はクリアできると思う。地域に密着している学校が多いので、できない理由ばかり考えずに取り組んでほしい。
- 学校には図書室も調理室もあり、地域コミュニティとしての活用の仕方を検討すべきと思う。
- 近年の猛暑によりエアコンがない建物は健康に悪影響を及ぼすので、エアコンの整備をお願いしたい。

## 10 幼児・児童施設

- 学校内に児童クラブを設置するのは、子どもたちの安全面からも大賛成。
- 三関小学校区には児童クラブが設置されていないため、三関地区センターのキッズステーションを利用するか、遠方（他学区）の児童クラブを利用するしかない状況。三関小学校にも空き教室があるので、未設置学区を早期に解消してほしい。
- 児童クラブとキッズステーションは、幼稚園と保育所が一体となっているところもあるので、統合された運営が望ましいと思う。
- 学童保育は必要。ただし、全児童対策として地域全体で子ども達の居場所づくりをしっかりとやらなければならない。

## 11 高齢福祉施設、障害福祉施設

- 福祉センターは社協が指定管理を受けている。社協は市からの補助金が収入の大きな割合を占めており、人件費や活動費の面で制限があって厳しい状況なので、機能の充実（指定管理業務の追加）には様々な課題があると思う。
- 福祉センターについて、まずはこれから社協がどのような事業展開を行っていくのかを検討した上で、施設運営にどのように関わるのかを検討していく。

## 12 医療施設

○皆瀬診療所について、施設の老朽化は課題だが、常勤医師が不在という課題も抱えている。市には常勤医師の確保をお願いしたい。

## 13 庁舎等

(特になし)

## 14 公営住宅

(特になし)

## 15 その他（車庫・倉庫、用途廃止施設）

○市が利用しない施設は、地域団体や民間団体に活用してもらえるような取り組みを進めてほしい。

○市が利用しない施設を地域が利用する場合、全てを自分たちでまかなうことは難しいと思うので、行政のサポートが必要。

○空きスペースや空き施設が、どここの場所にどのように空いているのかインターネット上で把握できるシステムがあればいい。

○旧湯沢北小学校は、市の備品等を保管しているが、イベント準備のときはスタッフとして市民も利用している。移転する場合は、運びやすさや立地などを考慮してほしい。

## 16 共通

○公共施設の再編は、公共交通の維持確保と関係する重要な問題である。

○市民の意見を伺う際は、年配者のみならず若い世代の意見も伺うべき。また、意見交換の場に参加するときは、年配者からも若者に声掛けしてほしい。

○施設の再編を検討するには、利用者の声も判断材料の1つになる。廃止や存続、複合化などの方向性を示している施設の利用者がどのように考えているのか、意見を伺う必要があるのではないか。

○今は選択と集中の時代。全てに同じサービスを展開するのは非常に困難である。